

阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンターからお届けする

# くじゅうだより

TAKE  
FREE!

くじゅうを  
歩こう!

大船山観光登山バスを利用して  
大船山に登ろう 編

2018 秋号

表紙写真:大船山段原の紅葉(大分県竹田市)

## くじゅうファンクラブ活動情報

皆さまのご支援で、  
こんな活動をしています。

教育・  
普及啓発

自然環境  
保全・調査

登山道等  
維持管理

\*平成28年5月31日から、「くじゅう地区管理運営協議会」の通称名称が、「くじゅうファンクラブ」となりました。

### 山のトイレをキレイに使い隊運動に参加しました!

7月19日に大分県主催「山のトイレをキレイに使い隊運動」に参加しました。この運動は、久住分かれにある山岳トイレを清潔に利用してもらえるように普及啓発を行うとともに、登山される方のご協力をいただき、トイレ洗浄用の水を久住分かれトイレまで運び、当該トイレを清掃する活動です。用意したペットボトルの水は40本(約20リットル)でしたが、そのほとんどを登山者の皆様の協力を得て、久住分かれトイレまで運搬・清掃することができました!久住分かれの山岳トイレはあくまでも緊急用のトイレですので、登山の際はできるだけ、登山口で用を済ませていただくとともに、利用の際はトイレ入口に設置してある協力金ボックスに、積極的なご協力をお願いいたします。



### 自然公園クリーン作戦が行われました!

8月1日に環境省・九重町主催で、飯田高原内で「自然公園クリーン作戦」が行われました。この活動は自然公園の美化思想を普及啓発することを目的に、各活動団体がゴミ拾い活動を行うものです。今年は雨の中、延べ200名弱の方々が参加して行われました。くじゅうファンクラブに頂いているご支援は、ゴミ拾い活動時の軍手等に利用させていただきました。



### 危険な登山道の閉鎖・道標の交換について

くじゅう連山で山岳遭難事故が多発していることを受けて、環境省・林野庁・大分県山岳遭難対策協議会は、鍋割峠から大船山に直登する危険ルートを開鎖しました。くじゅうファンクラブでも今年度の遭難対策事業として、皆様から頂いたご支援により、くじゅう連山中の老朽化した道標等の交換をすすめていく予定です。

### タデ原の自然観察会

<参加費無料/事前申込不要(個人の場合)>  
九重の自然を守る会のボランティアガイドによる人気のイベント。毎週日曜・祝日10:00~12:00に開催しています(12~2月は隔週開催)。参加希望の方は10時までに、直接ビジターセンターへお越しください。学校などの団体の観察会は、事前にご相談ください。



### 阿蘇くじゅう国立公園・タデ原レクチャー

<参加費無料/要予約(団体向け)>  
学校などの団体向けプログラム。国立公園の概要やタデ原湿原についてなどのレクチャーを15分~30分程度で行います。お気軽にご相談ください。



### くじゅうだより2018秋号

発行元:くじゅうファンクラブ  
(くじゅう地区管理運営協議会)  
879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野255-33  
長者原ビジターセンター  
TEL & FAX 0973-79-2154  
くじゅうファンクラブホームページ:  
<http://kujufanclub.com/>

★くじゅうの最新の自然情報  
などはフェイスブックで!  
<https://ja-jp.facebook.com/choujabaruvisitor/>

★活動報告やくじゅうの基本情報  
などはくじゅうファンクラブ  
ホームページで!  
<http://kujufanclub.com/>

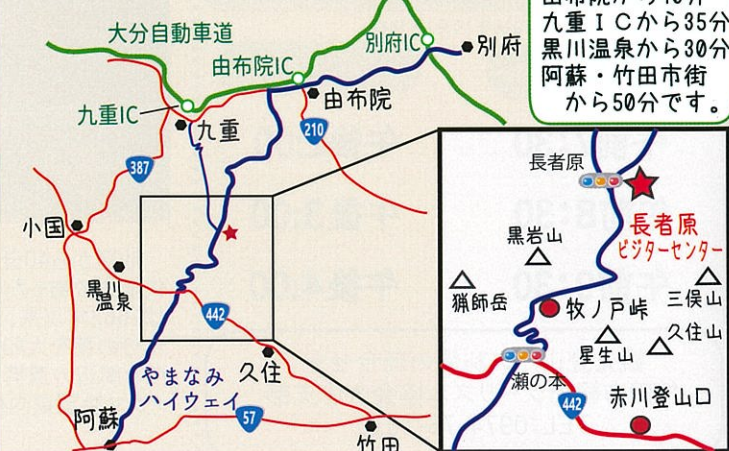


### リリース 職員からのひとこと

くじゅうの秋は、駆け足でやってくるようです。今年の夏は高温の日々が続いたかと思うと、次々と台風が来て、朝夕はすっかり冷え込むようになりました。今号では、観光登山バスが特集されていますが、くじゅうは山の楽しみ方がたくさん。私は、大好きな山登りの傍ら、自転車で南麓の草原の道を「人生下り坂最高!」などと走り下って楽しんでいます。みなさんも、マイフェイスリットくじゅうを見つけてください。(福原)



### 長者原ビジターセンターへは...



車で、  
由布院から40分  
九重ICから35分  
黒川温泉から30分  
阿蘇・竹田市街  
から50分です。

### タデ原ミニガイドウォーク

<参加費100円/事前申込不要(個人の場合)>  
11:00~、14:00~の1日2回、センター職員がタデ原を約30分でご案内。都合により中止の場合もあるので、参加希望の場合は、事前にお問い合わせください。



### タデ原の植物相の調査を実施しています!

環境省・日本自然保護協会が取り組んでいる「モニタリングサイト1000里地調査」では全国約200カ所で統一された調査を行い、生態系の変化を全国レベルでとらえることを目指しています。長者原ビジターセンターの目の前に広がるタデ原湿原も、このモニタリングサイト1000登録地であり、毎月第3日曜日(12月~2月以外)に九重の自然を守る会と連携して植物相の調査を行っています。調査の方法は、タデ原の自然研究路を歩きながら、植物のつぼみ・花・実をそれぞれ記録しています。これらの情報は、湿原の環境の変化や外来種の影響などがなければはかる、貴重なデータとなります。



### チームタデ原 タデ原のキッズガイドの実施や KODOMOラムサールin荒尾干潟に参加しました!

8月18日、地元九重町の小中学生からなる「チームタデ原」のメンバーが、タデ原湿原の木道でキッズガイドを行いました。見ず知らずの人に声をかけて説明するのは少し緊張した様子でしたが、そこは日頃からタデ原で学習している子どもたち、質問にもすらすらと答えてお客さんも大満足のガイドになったようです。



▲キッズガイドの様子

9月23~24日には、熊本県荒尾市の荒尾干潟で開催されたKODOMOラムサール湿地交流に、代表児童4名が参加してきました。沖縄を除く九州には、ラムサール条約に登録された湿地が6カ所あり、今回の湿地交流にはそのうちの5カ所から小学生が参加して交流を深めました。荒尾干潟は有明海の中でも独特な湿地で、広大な干潟のうえを自転車や車で移動することができます。タデ原とはまた違った湿地について、深く知ることができた2日間でした。



▲KODOMOラムサールin荒尾干潟参加者集合写真



# 片道徒歩約2時間 大船山観光登山バス～ 池窪～大船山山頂

1,180m

1,786m

1,700m級の山々が連なる、くじゅう連山。10月中旬～11月初旬にかけて、くじゅう連山一帯では見事な紅葉が見られます。紅葉の名所として知られている大船山ですが、山頂までは長者原登山口から往復約8時間以上、南側の岳麓寺登山口からも往復7時間以上と、初心者には大変ハードルが高い山でした。

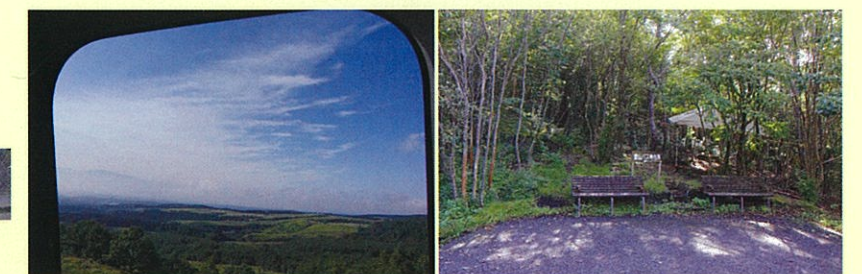
2015年に登場した大船山観光登山バスを利用すると、バスの終点である池窪から大船山山頂まで徒歩2時間で行けるようになり、今まで遠いイメージだった大船山を、ぐっと身近に感じさせてくれます。(但し本格的な登山であることには変わりないため、きちんとした装備は必要です。)今回は、そんな観光登山バスを利用した大船山登山を紹介します!

## 01 パルクラブ(観光登山バス発着場)



パルクラブ入口には、登山バスの案内板が出ています。中へ入ると登山バス利用者専用駐車場があります。駐車場に隣接して、トイレもあります。登山バスの発着場は、パルクラブ内にある温泉施設「大地乃湯」の前となっており、登山バス利用者専用駐車場から徒歩1分と少し離れたところにあるため、ご注意ください。大地乃湯内に\*バス乗車券の券売機があるので、そこで料金を支払います。  
\*バスは前日の12時までに、竹田市観光ツーリズム協会に予約が必要です。

## 02 観光登山バスで池窪(登山バス終点)へ



登山バスでパルクラブから池窪まで約20分。\*牧野道をぐんぐんとバスで登っていきます。途中車窓から見える草原風景は絶景! 天気がよければ車窓から祖母山系をのぞむことができます。バスの降り口である池窪は、標高約1180m。ベンチが置いてあり、帰りのバスを予約した場合は、ここで待つことができます。ここから大船山に向けて、登山開始です!  
\*牧野道は金網のゲートがあるため、一般の車両及び登山(徒歩)での進入はできません。

バス道は一部省略

ゲート

## 01 パルクラブ(登山バス発着場)

## 02 池窪(登山バス終点)

観光登山バス

ここからは本格的な登山です。

バス終点からの登山道は、目印がついています。



## 03 入山公墓

険しい登りが続きます。あと一息!



岳麓寺登山口からの合流地点。帰りも登山バスを利用する場合は、間違えて岳麓寺登山口方面に行かないよう注意!

## 04 大船山山頂

▲大船山山頂からの大パノラマ

Check!

大船山は6月上旬、ミヤマキリシマという高山植物が見ごろになる。「大船山のミヤマキリシマ群落」として、国の天然記念物にも指定されている。

## 04 大船山山頂

入山公墓から大船山山頂まで、約1時間30分ほど険しい登りが続きます。息をきらしながら山頂にたどりつくと、くじゅう連山が一望できる大パノラマ風景が広がり、山頂直下の御池(おいけ)の周りの紅葉の様子は庭園のようです。また、山頂から見える段原方面の紅葉も見ごたえがあります。大船山山頂には、ツクシドウダンなどのドウダンツツジの仲間やナナカマド・オオカメノキなど、赤系統に紅葉する樹種が多く、山一面が紅葉で彩られます。山頂帯の紅葉の\*ピークは、例年10月中旬となっています。\*年によって若干の変動あり



大船山山頂直下の御池

大船山山頂から段原方面の展望

## 03 入山公墓



池窪から40分ほど登ると、「入山公墓」の入口につきます。入山公墓は、岡藩第3代藩主であった中川久清公(1615～1681)の墓所で、国指定の史跡です。久清公は1662年以来、たびたび屈強な領民が背負う人鞍に乗って大船山に登っており、自分の墓を大船山に設けるように遺言を残したと言われています。現在もその墓所と周辺の遺構が残っており、往時をしのばせています。入山公墓に隣接して、パノラマ眺望案内板も設置されており、岡城方面の展望を楽しむことができます!

### 大船山観光登山バス利用について

- バスは前日の12時までの事前予約制
- 乗車料金 片道1,000円 往復1,800円
- その他、竹田市観光ツーリズム協会に旅行条件(バス利用条件)を確認のこと
- 2018年の運行期間:4月28日～11月18日

\*運行時間 1日3往復(1便につき定員18名)

\*2018年10月1日現在

行き

帰り

午前7:30

午後2:00

午前8:30

午後3:00

午前9:30

午後4:00

観光登山バス利用の問合せ先  
竹田市観光ツーリズム協会久住支部  
TEL:0974-76-1610